

中海・宍道湖文献目録

相崎守弘¹

Bibliography concerning Lakes Nakaumi and Shinji

Morihiro Aizaki¹

Abstract : Published 589 papers concerning natural science of Lake Nakaumi and Lake Shinji are listed.

Key words : bibliography, Lake Nakaumi, Lake Shinji

はじめに

中海及び宍道湖は日本を代表する汽水湖である。汽水湖としての学術的興味に加えて、水産の場としても重要であるところから多くの研究が行われてきた。1960年代からは干拓、淡水化の事業が始まり、さらに多くの調査研究が行われた。

ここでは、自然系の論文を中心に、約 100 年間の論文のリストを作成した。ここに、洩れている論文もまだ多く残されていると思われるが、589 編の論文についてリストアップできた。今後さらに補充して行くことによって、より精度の高い論文目録が完成されるものと思う。皆様のご協力をお願いいたします。

本文献リストを制作するに当たって、能智美佳さん、前田伊佐武さんの協力を得た。記して感謝します。また、本文献リストの作成には住友生命財団の助成を受けております。記して感謝いたします。

中海・宍道湖関連文献目録

～1950 年

1. 宍道湖の記, 前田秀実, 地学雑誌, 6 (72),

679-682, 1894.

2. 日本海沿岸本土の湖沼, 田中阿歌麿, 地学雑誌, 17 (193), 64, 1905.
3. 宍道湖公魚人工孵化, 山田政満, 水産研究誌, 8 (5), 207-208, 1913.
4. 中海調査, 島根県水産試験場, 大正 9 年度島根水試事業報告, 71-108, 1920.
5. 宍道湖及中海に於ける水産養殖に就いて, 妹尾秀実, 水産研究誌, 17 (11), 24, 1922.
6. 宍道湖の鹹度問題, 小牧実繁, 地球, 8(4・5・6), 257-270・361-368・418-426, 1927.
7. 宍道湖の鹹度問題, 小牧実繁, 地球, 9(1・2), 46-52・123-127, 1928.
8. 中海海洋観測調査報告, 須田皖次, 松平康雄, 海洋時報, 3, 120-153, 1929.
9. 中海赤潮についての調査, 石井省一郎, 海洋時報, 3, 195-198, 1931.
10. Studies on the Bottom Fauna of Japanese Lakes, 宮地伝三郎, Jap. Jar. Zool, 4, 41-99, 1932.
11. 中海の魚類予報, 安達亀一, ユーグレナ, 3 (4), 23-24, 1932.
12. 中海における珪藻と赤潮 (昭和 8 年夏季中海海洋調査報告第二部), 倉茂英次郎, 喜多村一

¹ 島根大学生物資源科学部 Faculty of Life and Environmental Science, Shimane University, Matsue 690-8504, Japan
e-mail ; aizaki@life.shimane-u.ac.jp

- 男, 気象集誌, 12, 287-300, 1933
13. 中海赤潮調査, 島根県水産試験場, 昭和7年度島根水試事業報告, 68-83, 1934.
 14. 中海調査, 喜多村一男, 島根県浜田測候所, 浜田, 1-30, 1935.
 15. 出雲宍道湖産貝類, 高木仟, *Venus*, 7(4), 174-187, 1937.
 16. 中海に於ける水位異常変化に就いて, 豊原義一, 海と空, 18, 50-53, 1938.
 17. 宍道湖の化学生物的研究, 松平康男, 齊藤行正, 海と空, 22(12), 403-413, 1942.
 18. 日本の汽水特に潟湖の生態学的研究, 第一報 日本沿岸汽水域の底生動物, 上野益三, 服部報公会研究報告, 10, 409-425, 1943.
 19. 中海の底生動物群集と遺骸群集, 宮地伝三郎, 京大生理生態業績, 31, 1-24, 1945.
 20. A limnological survey of the Nakano-umi and Lakes Shinji in the coast of the Japan Sea, II. on the plankton of Nakano-umi in summer, Chiba, T., *Bull. Jap. Fisher*, 16, 22-, 1949.
 21. 中海・宍道湖産白魚の魚群系統, 太田繁, 水試月報, 1(3), 7-8, 1949.
 22. 中海・宍道湖ヨコエビ生態調査, 太田繁, 水産庁調, 18, 1-18, 1949.
 23. 石見, 出雲の陸水エビ類, 上田常一, 水試月報, 1(13), 6-12, 1950.
 24. 中海・宍道湖産のシラウオの第二次性徴並びに魚群系統, 太田繁, 水産研究誌, 41(1), 1950.
 25. 中海産カキの被害, 丸川久俊, 水試月報, 1(11), 1950.
 26. 再び中海・宍道湖産白魚の魚群系統, 太田繁, 水試月報, 2(3), 7-8, 1950.

~1960年

1. 中海, 宍道湖の湖沼学的研究3, 夏期宍道湖のプランクトンに就いて, 千葉卓夫, 小林歌夫, 日本水産学会誌, 41(1), 9-14, 1951.
2. 美保湾・中海の海況と生物群集, 宮路伝三郎, 波部忠重, 美保湾生物調査, 1, 1-9, 1952.
3. ソウギョの宍道湖移植にさいして, 亀山展志, 水試月報, 3(4), 10-12, 1955.
4. 中海の赤潮に関する化学的研究, 梶川豊明, 鳥取県水産試験場研究報告, 35, 1-364, 1955.
5. 大山出雲特定地域宍道湖中海水理調査報告書, 島根県, 鳥取県, 昭和32年国土総合開発

調査, 1-312, 1958.

6. Ecological studies on the algal flora of the Lakes Shinji and Nakano-umi, Akiyama, M., Nishigami, K., *Bull. Shimane Univ.*, 9, 69-75, 1959.
7. 汽水系宍道湖にみられるオオイシソウの生態, 秋山優, 藻類, 7(3), 1-4, 1959.
8. サルボウの生態的研究I. サルボウ稚貝の低比重に対する抵抗力について, 山城隆文, 水産増殖, 6(3), 1959.
9. プランクトン, 千田哲資, 中海干拓基本調査報告書, 鳥取県水産試験場, 105-137, 1959.
10. Ecological study on *clithon retropictus* (Martens, V) in Lakes Shinji and Nakaumi, Miyamoto, I., *Jap. J. Ecol.*, 10, 45-, 1960.

~1970年

1. 宍道湖および中海の藻類相の生態的研究, II. 藻類浸透圧の適応について, 西上一義, 秋山優, 藻類, 9(1), 25-31, 1961.
2. 宍道湖・中海の無機環境および若干の元素(P, N)の物質循環, 森主一, 中海干拓淡水化事業に伴う漁族生態調査報告; 宮地伝三郎編, 島根県, 14-27, 1962.
3. 美保関・中海・宍道湖及びこれらに流入する河川の水質について, 岡林弘之, 木村俊博, 島根県衛生研報, 4, 1-16, 1962.
4. The inorganic environmental condition on Lakes Shinji and Nakano-umi with special reference to the matter circulation especially of nitrogen and phosphorus, Mori, S., *An Ecological Report of Aquatic Biota in Lake Nakano-umi*, 14-27, 1962.
5. Notes on some arthropoda and decapoda found in Lakes Shinji and Nakano-umi, Harada, E., *An Ecological Report of Aquatic Biota in Lake Nakano-umi*, 45-49, 1962.
6. Phytoplankton in Lakes Shinji and Nakano-umi, Negoro, K., *An Ecological Report of Aquatic Biota in Lake Nakano-umi*, 1962.
7. 山陰地方の淡水藻類の生態, 秋山優, 山陰文化研究紀要, 2, 77-90, 1962.
8. 美保湾・中海・宍道湖の底生動物, 宮地伝三郎, 中海干拓・淡水化事業に伴う漁族生態調査報告, 29-41, 1962.
9. 美保関・中海・宍道湖の貝類目録, 渡部忠重, 菊池泰二, 中海干拓淡水化事業に伴う漁族生態調査報告, 宮地伝三郎編, 島根県, 42-43,

- 1962.
10. 美保湾・中海・宍道湖の大型甲殻類とタコ・イカ類, 原田英司, 中海干拓淡水化事業に伴う漁族生態調査報告, 宮地伝三郎編, 島根県, 45-49, 1962.
 11. 美保湾・中海・宍道湖の魚類, 岩井保, 浅野博利, 中海干拓淡水化事業に伴う漁族生態調査報告; 宮地伝三郎編, 島根県, 50-56, 1962.
 12. 植物プランクトン, 根来健一郎, 中海干拓・淡水化事業に伴う漁族生態調査報告, 57-65, 1962.
 13. 水草・大型藻類, 根来健一郎, 中海干拓・淡水化事業に伴う漁族生態調査報告, 82-84, 1963.
 14. 美保関・中海・宍道湖の底生生物, 菊池泰二, 中海干拓淡水化事業に伴う漁族生態調査報告, 宮地伝三郎編, 島根県, 1962.
 15. Ecology and Biological Production of Lake Nakami, Kikuchi T., *Spec. Publ. Seto Mar. Biol. Lab. Series II Part I*, 1964.
 16. The Charophyta from the lakes of Japan, Kasaki, H., *J. Hattori Bot. Lab.*, 27, 217-314, 1964.
 17. 松江市内堀川の水質的調査, 松江市内堀川の汚濁に関する調査研究, 島根大学文理学部生物学教室, 島根県衛生研究所年報, 4, 13-18, 1964.
 18. 松江市堀川の水質調査成績, 佐藤一夫, 菊地幸子, 島根県衛生研年報, 4, 49-55, 1964.
 19. 中海と赤潮, 岸岡務, 米子市立弓ヶ浜中学校科学部, 米子, 206, 1965.
 20. 宍道湖の堆積環境と底生動物群集についての予察的研究, 水野篤行, 地質調査所報告, 214, 1-26, 1966.
 21. 宍道湖の動物たち, 上田常一, 上田常一先生退官記念事業会, 51-118, 1967.
 22. 宍道湖・中海底質の化学組成について(水成岩の化学組成の研究その2), 大森江い, 地質調査所月報, 20 (7), 463-479, 1968.
 23. Ecology and Biological Production of Lake Nakami and Adjacent Regions. 4. Distribution of Fishes and their Foods, Kawanabe, H., Tezuka, Y., *Spec. Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, 2 (2), 45-73, 1968.
 24. Ostracodes from Shinji and Nakami, Shimane Prefecture, Western honshu, Japan, Ishizaki, K., *Sci. Rep. Tohoku Univ.*, 2nd Ser (Geol.), 41 (2), 197-224, 1968.
 25. 湖底堆積物からみた宍道湖, 秋山優, 山木輝男, 山陰文化研究紀要, 12, 14-25, 1968.
 26. 宍道湖西部のワカサギ漁と気象との関係について, 三代耕二, 水試月報, 53, 23-25, 1968.
 27. 宍道湖における堆積環境と珪藻に関する予報, 野口寧世, 目川友子, 地学研究, 19, 193-197, 1968.
 28. 中海水圏における水質の動態に関する研究(I) 淡水化前における塩素量および水温の分布について, 伊達善夫, 山陰文化研究紀要, 9, 1968.
 29. 松江市堀川における植物プランクトンの生物学的化成の年周変動, 秋山優, 西上一義, 山陰文化研究紀要, 9, 61-73, 1968.
 30. 松江市堀川の植物プランクトンの生態学的研究, 安部昭彦, 島根県立松江北高等学校研究紀要, 6, 5-29, 1968.
 31. 汽水域における生物生産—中海水系における生産関係を中心として—, 川那部浩哉, 地質学論集, 3, 15-22, 1968.
 32. 汽水湖底泥中のウラニウム分布の一例—その2—(要旨), 水野篤行, 関根節郎, 地質学雑誌, 74 (2), 144-145, 1968.
 33. 宍道湖・中海底泥中のU分布, とくに沈積環境との関係(予報), 水野篤行, 関根節郎, 地質調査所報告, 232, 317-352, 1968.
 34. 中海・宍道湖の堆積についての総合的研究, 水野篤行, 地質調査所月報, 20 (3), 221-224, 1968.
 35. 中海水質調査報告書, 島根県, 鳥取県, 1968.
 36. 宍道湖・中海底泥中のU分布, とくに沈積環境との関係(予報), 水野篤行, 地質調査所報告, 232, 317, 1969.
 37. 中海水系の魚たち, 川那部浩哉, 川と湖の魚たち, 60-82, 1969.
 38. 宍道湖産動物目録, 島根県, —宍道湖—水源としての基礎調査, 103-106, 1970.
 39. 宍道湖の水質について, 木村俊博, 安井直樹, 島根県衛生公害研究所報, 11, 29, 1970.
 40. プランクトンの調査, 宍道湖—水資源としての基礎調査—, 秋山優, 島根県, 63-102, 1970.
 41. 中海湖底下の第四紀泥炭層の14C年代—日本の第四紀層の14C年代(53)—, 水野篤行, 大嶋和雄, 地球科学, 24 (2), 76-78, 1970.

～1980年

1. 微生物と堆積一序(とくに中海・宍道湖の底質中の硫酸還元菌について), 都留信也, 堆積学連絡会報, 3, 8-10, 1971.
2. 中海産大型藻類の分布とその生態的特性, 秋山優, 佐川紀子, 山陰文化研究紀要(自然科学), 11, 19-26, 1971.
3. 中海産藻類プランクトンの生態学的研究, 佐川紀子, 秋山優, 山陰文化研究紀要(自然科学), 11, 27-39, 1971.
4. 中海の魚類, 島根大学地域分析研究会編, 飢字の入海-中海とその干拓淡水化をめぐって-, 117-119, 1971.
5. 中海・宍道湖の堆積物中の微量元素(予察), 中尾征三, 水野篤行, 堆積学連絡会報, 3, 2-6, 1971.
6. 中海・宍道湖底質における粘土鉱物の分布について(予報), 藤井紀之, 安田俊一, 地質調査所月報, 22, 593-602, 1971.
7. 中海産大型藻類の分布とその生産的特性, 秋山優, 佐川紀子, 山陰文化研究紀要(自然科学篇), 島根大学, 11, 19-26, 1971.
8. 宍道湖・中海湖水の懸濁物中のウラン含有量, 望月常一, 中尾征三, 地質調査所月報, 23(7), 393-398, 1972.
9. Marine fungi from Lake Shinji and Naka-umi, Yamamoto, M., Yubaki, K., *Men. Nat. & Cult. San-in Reg., Shimane Univ.*, 12, 1-13, 1972.
10. 宍道湖, 中海の第四紀堆積物中のアミノ酸, アミノ糖について, 寺島美南子, 大嶋和雄, 地質学雑誌, 78(6), 289-300, 1972.
11. 中海・宍道湖の形成過程とその問題点, 水野篤行, 大嶋和雄, 地質学論集, 7, 113-124, 1972.
12. 宍道湖・中海および神西湖のフジツボ類, 伊賀哲郎, 山陰文化研究紀要, 13, 59-70, 1973.
13. 中海コア試料中の火山灰および浮石の粘土鉱物-大山および三瓶山降下堆積物中の粘土鉱物その3-, 田崎和江, 地質学雑誌, 79(2), 79-88, 1973.
14. 1971・1972年宍道湖・神西湖の天然魚に発生した疾病について, 鈴木博也, 魚病研究, 9(1), 1974.
15. 宍道湖のカワチブナに発生したカリグス寄生による被害について, 鈴木博也, 魚病研究, 9(1), 1974.
16. 中海・宍道湖水域生物調査及び流動調査報告書, 建設省出雲工事事務所, 70, 1974.
17. 潟湖の汚濁-中海の生態学的長期研究, 岸岡務, 技研出版, 東京, 237, 1975.
18. 水質汚濁機構に関する基礎的調査研究(第1報)-宍道湖の基礎生産量調査-, 木村俊博, 森本直知, 島根県衛生公害研究所報, 16, 50-53, 1975.
19. 島根県における公共用水域の衛生科学的調査研究(第2報), 島根県衛生研究所, 島根県衛生研究所年報, 14, 38-51, 1972.
20. 島根県における公共水域の衛生化学的調査研究(第4報), 森本直知, 井塚俊一, 島根県衛生公害研年報, 16, 53-58, 1975.
21. 底質の重金属汚染調査, 島根県衛生研究所, 島根県衛生公害研究所年報, 16, 58-60, 1974.
22. 県下公共用水域の底質環境について, 島根県衛生研究所, 島根県衛生研究所年報, 17, 45-49, 1975.
23. 富栄養化に関する実験的研究と将来予測, 伊達善夫, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書, 島根県, 1, 1-30, 1975.
24. 宍道湖のプランクトンおよび着性藻類の推移に関する調査, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書, 島根県, 1, 31-53, 1975.
25. 主要魚類・貝類・鳥類の生息分布に関する調査, 大氏正巳, 中海・宍道湖の水質保全調査報告(第1報), 55-, 1975.
26. 中国地方の湖沼, 森下郁子, 日本の湖沼診断, 176-180, 1975.
27. 中海・宍道湖生物調査報告書, 建設省出雲工事事務所, 107, 1975.
28. 中海干拓淡水化事業-事業計画と自然環境について, 伊達善夫, 水理学, 19, 43-, 1975.
29. 中海水圏における水質の動態に関する研究(II), 伊達善夫, 川上誠一, 山陰文化研究紀要, 15, 35-60, 1975.
30. 各河川の生物学的な水質階級と優占種, 森下郁子, 生物からみた日本の河川, 山海堂, 1976.
31. 宍道湖の生物相の1975年の現況, 森下郁子, 久保淳子, 淡水生物, 14, 161-167, 1976.
32. 中海における水質汚濁機構の解析と水質の将来予測, 伊達善夫, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書, 島根県, 2, 1-22, 1976.
33. 宍道湖のプランクトンおよび着性藻類の推移に関する調査, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書, 島根県, 2, 23-58, 1976.

34. 中海・宍道湖水系のベントスの生息とその推移に関する調査, 伊賀哲郎, 中海・宍道湖の水質保全調査報告(第2報), 59-83, 1976.
35. 水質汚濁機構に関する基礎的調査研究(第2報) - 宍道湖の基礎生産量と植物プランクトン -, 森本直知, 川上誠一, 島根衛公研年報, 17, 42-44, 1976.
36. 中海・宍道湖富栄養化調査報告書, 建設省出雲工事事務所, 127, 1976.
37. 中海の水質, 伊達善夫, 島根大学農学部農芸化学工学研究室特別報告, 1, 1976.
38. 宍道湖・中海の堆積物中の炭素分布について, 小野美代子, 小野寺公兎, 地質調査所月報, 27(8), 535-553, 1976.
39. 宍道湖・中海の堆積物中の窒素およびC/N比分布について, 小野美代子, 小野寺公兎, 地質調査所月報, 28(7), 431-444, 1976.
40. 中海干拓・淡水化に伴う水圏環境変動に関する研究, 人間の生存にかかわる自然環境に関する基礎的研究, 伊達善夫, 文部省研究報告集, 157-167, 1977.
41. 昭和50年度中海・宍道湖水質汚濁関連調査, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 中海・宍道湖富栄養化調査, 中海堆積汚泥調査, 87, 1977.
42. 宍道湖の水質汚濁と植物プランクトン, 森本直知, 川上誠一, 用水と廃水, 19, 407-419, 1977.
43. 宍道湖のプランクトンおよび着性藻類の推移に関する調査, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書, 島根県, 3, 25-72, 1977.
44. 中海・宍道湖水系のベントスの生息とその推移に関する調査, 伊賀哲郎, 中海・宍道湖の水質保全調査報告(第3報), 73-83, 1977.
45. 中海・宍道湖水質汚濁関連調査, 建設省出雲工事事務所, 87, 1977.
46. 中海における新生堆積物の捕集方法について, 伊達善夫, 環境科学研究報告書中海班, 4, 49-60, 1977.
47. 宍道湖の底質(1) 表層底質からみた有機汚染分布, 山崎美紀雄ら, 島根県衛生公害研究所報, 20, 40-52, 1978.
48. 昭和53年度の宍道湖調査結果について, 安田幸伸, 森本直知, 島根県衛生公害研究所報, 20, 137-143, 1978.
49. 中海における水質汚濁機構の解析と水質の将来予(Ⅲ), 伊達善夫, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第4報), 島根県, 1-23, 1978.
50. 宍道湖のプランクトンおよび着生藻類の推移ならびに淡水藻類の発生予察に関する調査, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第4報), 島根県, 25-52, 1978.
51. 中海・宍道湖水系のベントスの生息とその推移に関する調査, 伊賀哲郎, 中海・宍道湖の水質保全調査報告(第4報), 53-71, 1978.
52. 中海の植物プランクトン相の現況と推移, 伊達善夫, 近藤邦男, 「環境科学」研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 1, 24-44, 1978.
53. 中海および宍道湖の昆虫相に関する研究, 三浦正, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 1, 64-75, 1978.
54. 淡水および汽水性クロレラにおける光合成活性の日周変化について, 落合英夫, 「環境科学」研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 1, 76-83, 1978.
55. 内湾性汽水湖における水温および塩分と2,3の環境要因, 伊達善夫, 近藤邦男, 水温の研究, 22, 1978.
56. 中海水圏における水質の動態に関する研究(Ⅳ) 富栄養化現象の多変量解析による考察, 伊達善夫, 持田和男, 山陰文化研究紀要, 28, 1978.
57. 中海水圏における水質の動態に関する研究(Ⅴ) 中海における植物プランクトン相とその増殖に及ぼす環境因子の影響, 伊達善夫, 近藤邦男, 山陰文化研究紀要, 29, 1978.
58. ユスリカの主要種とその発消長について, 三浦正, 島根大学農学部研究報告, 12, 41-45, 1978.
59. 中海の植物プランクトン相の現況と推移(Ⅱ), 伊達善夫, 近藤邦男, 「環境科学」研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 2, 7-25, 1979.
60. 汽水湖中海の植物プランクトンの出現様式. I. 出現様式の統計的解析と主な環境要因との関連について, 大竹久夫, 伊達善夫, 「環境科学」研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 2, 27-43, 1979.
61. 汽水湖中海の植物プランクトンの出現様式. II 数値分類法による出現パターンの探索, 大竹久夫, 伊達善夫, 「環境科学」研究報告書, 中海

- の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 2, 45-60, 1979
62. 地中海の底生動物—1978年の調査から—, 伊賀哲郎, 環境科学研究報告書, 地中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 2, 89-101, 1979
63. 地中海における水質汚濁機構の解析と水質の将来予測(Ⅳ), 伊達善夫, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書, 島根県, 5, 1-25, 1979
64. 宍道湖水系におけるプランクトンおよび着生藻類の推移ならびにその生態学的研究, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書, 島根県, 5, 33-62, 1979
65. 中海・宍道湖水系の底生動物の生息とその推移に関する調査, 伊賀哲郎, 中海・宍道湖の水質保全調査報告(第5報), 63-77, 1979
66. 藻類生産の潜在能力(Algal Growth Potential)試験による水質の富栄養化の評価と水質浄化に関する研究(第2報), 川上誠一, 林喬一郎, 島根県衛生公害研究所報, 21, 48-51, 1979
67. 地中海圏における水質の動態に関する研究(V). 中海における植物プランクトン相とその増殖に及ぼす環境因子の影響, 伊達善夫, 近藤邦男, 山陰文化研究紀要, 19, 139-180, 1979
68. 斐伊川・神戸川の水生昆虫—方形区調査結果集計表—, 西村登, 日本水産資源保護協会, 1979
69. 斐伊川・神戸川の水生昆虫—斐伊川・神戸川漁業調査報告—, 西村登, 日本水産資源保護協会, 71-112, 1979
70. Phytoplankton studies in the brackish Lake Nakanoumi, Japan. I Phytoplankton in Lake Nakanoumi, 1974-1978, Otake, H., Kondo, K., *Arch. Hydrobiol.*, 90, 309-323, 1980
71. 宍道湖・中海の水質調査結果(昭和55年度), 川上誠一, 安田幸伸, 島根県衛生公害研究所報, 22, 137-138, 1980
72. 宍道湖の底質と大型底生動物について, 中村幹雄, 昭和53年度島根県水産試験場事業報告, 167-175, 1980
73. 宍道湖流入河川のマシジミ生息調査, 中村幹雄, 昭和54年度島根県水産試験場事業報告, 171-175, 1980
74. 第2回自然環境保全基礎調査1979年湖沼調査報告書, 太田彰次ら, 島根県, 15-31, 1980
75. 中海干拓淡水化がその水圏環境に及ぼす影響について—事前調査とその問題点—, 大竹久夫, 伊達善夫, 陸水学雑誌, 41(3), 153-162, 1980
76. 地中海圏における水質の動態に関する研究(VI). 中海における植物プランクトン相(その2), 伊達善夫, 山陰文化研究紀要, 20, 159-179, 1980
- 1981年
1. 中海および宍道湖における底生藻類の生態学的研究. 2. 汚濁環境と底生藻類の分布ならびに小形着生藻類の生態, 秋山優, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 3, 35-46, 1981
2. 中海における植物プランクトンの光合成活性に与える水質の影響, 三田村緒佐武, 松本典子, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 3, 47-51, 1981
3. 汽水湖中海における光合成活性の日周変化, 三田村緒佐武, 橘淳治, 「環境科学」研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 3, 53-58, 1981
4. ライト・トラップで誘発された中海の水生昆虫, 三浦正, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 3, 69-72, 1981
5. ライト・トラップで誘発された宍道湖の水生昆虫, 三浦正, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 3, 73-80, 1981
6. 中海の植物プランクトン相の現況と推移(Ⅲ), 伊達善夫, 近藤邦男, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 4, 25-47, 1981
7. 大型底生藻類の死滅による水界への汚濁負荷と, 分解産物の植物プランクトンによる利用, 秋山優, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 4, 61-67, 1981
8. 中海の底生動物(Ⅱ), 伊賀哲郎, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 4, 77-86, 1981
9. 中海および宍道湖の水生昆虫, 三浦正, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 4, 87-99, 1981
10. Phytoplankton studies in the brackish Lake

Nakanoumi, Japan. II. Numerical classification of phytoplankton species based on the likeness of occurrence, Otake, H., Oda, K., *Arch. Hydrobiology*, 90, 397-409, 1981

11. Studies on the brackish water environment of Lake Nakanoumi with special reference to the reclamation and freshening project, Otake, H., Date, Y., *Verein. Limnol.*, 21, 613-618, 1981
12. 宍道湖・中海の水質調査結果(昭和56年度), 川上誠一, 安田幸伸, 島根県衛生公害研究所報, 23, 118-119, 1981
13. 宍道湖のプランクトン相について, 石原純子, 安田幸伸, 島根県衛生公害研究所報, 23, 121-127, 1981
14. 中海地区産業公害総合事前調査(水質関係)現地調査報告書, 産業公害防止協会, 236-239, 1981
15. 中海の植物プランクトン相に関する調査と研究(VI), 伊達善夫, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書6, 島根県, 1-25, 1981
16. 宍道湖水系におけるプランクトンおよび着生藻類の推移ならびにその生態学的研究, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書6, 島根県, 27-54, 1981

1982年

1. A quantitative analysis of phosphorus cycle in the shallow brackish lake Nakanoumi, Japan, Otake, H., Seike, Y., *Arch. Hydrobiol.*, 94, 286-301, 1982
2. 中海の植物プランクトン相と水質汚濁機構の解析に関する研究(VII), 伊達善夫, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書7, 島根県, 1-22, 1982
3. 中海・宍道湖水系における植物プランクトンおよび着生藻類の推移ならびにその生態学的研究, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書7, 島根県, 23-49, 1982
4. 宍道湖・中海の藻類, 秋山優, 遺伝, 36(10), 90-94, 1982
5. 着生藻類, 秋山優, 飢宇の入海-中海とその干拓・淡水化をめぐって-, 島根大学地域分析研究会編, 126-130, 1982
6. Seasonal and aerial feature of the lagoonal environment in lake Nakanoumi, a shallow coastal lagoon in Japan, Otake, H., Kondo, K., *Arch. Hydrobiol.*, 97, 15-26, 1982

7. 国設中海鳥獣保護区設定等調査報告書, 中海・宍道湖地域生物研究会, 環境庁・島根県・鳥取県, 55-88, 1982
8. 昭和56年度中海・宍道湖生物調査業務報告, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1982
9. 宍道湖・中海の大型底生動物の生息分布とその推移について, 中村幹雄, 昭和55年度島根県水産試験場事業報告, 155-168, 1982
10. 宍道湖・中海のプランクトン相について, 石原純子, 安田幸伸, 島根県衛生公害研究所報, 24, 86-90, 1982
11. 宍道湖中海の底層水質と底生動物の現況(底生動物班研究報告)水管理, 東幹夫ら, 生態変化委員会資料(魚類小委員会), 1982
12. 動物・植物プランクトン, 近藤邦男, 飢宇の入海-中海とその干拓・淡水化をめぐって, たたら書房, 123-126, 1982
13. 重金属, 農薬ならびに海面活性剤に対する植物プランクトンの生態的応答, 秋山優, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 5, 29-37, 1982
14. 中海の底生動物(III), 伊賀哲郎, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 5, 61-75, 1982
15. 中海および宍道湖の水生昆虫-1981年度中海の調査から-, 三浦正, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 5, 77-90, 1982
16. 中海および宍道湖の水生昆虫-1981年度宍道湖の調査から-, 三浦正, 環境科学研究報告書, 中海の干拓・淡水化が水圏環境に及ぼす影響に関する基礎的研究, 5, 91-105, 1982
17. 中の海底生動物の現況(底生動物班研究報告)水管理, 川合禎二ら, 生態変化委員会資料(底生動物小委員会), 1982
18. 飢宇の入海-中海とその干拓淡水化をめぐって, 島根大学地域分析研究会, たたら書房, 米子, 211, 1982
19. 中海・宍道湖の自然史研究その1. 予察的柱状採泥の結果について, 中海・宍道湖自然史研究会, 島根大学地質学研究報告, 1, 29-49, 1982

1983年

1. 宍道湖中海淡水湖化に関連する水理水質及

- び生態の挙動について, 伊達善夫, 宍道湖・中海淡水湖化にともなう水管理及び生態変化に関する研究委員会, 中間報告, 345-452, 1983
2. 中海のプランクトン相に関する調査と研究 (VIII), 伊達善夫, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書 8, 島根県, 1-27, 1983
 3. Nakanoumi land reclamation and freshening project, Otake, H., *Water Science and Technology*, Pergamon press, 36180, 1983
 4. 変わりゆく宍道湖と中海 (気になる魚カワヤツメ・イトヨ), 越川敏樹, 淡水魚, 9, 76-81, 1983
 5. 昭和 57 年度中海・宍道湖生物調査業務, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1983
 6. 昭和 58 年度の宍道湖・中海調査結果について, 神谷宏, 安田幸伸, 島根県衛生公害研究所報, 25, 83-99, 1983
 7. 宍道湖・大橋川・中海, 縦断通日調査, 石飛裕, 神谷宏, 島根県衛生公害研究所報, 25, 100-104, 1983
 8. 宍道湖・中海水質管理計画 (案), 宍道湖等水質管理計画管理計画検討委員会, 1-19, 1983
 9. 宍道湖・中海の底生動物「宍道湖中海淡水化に関連する水利水質および生態の挙動について」, 川合禎二ら, 609-622, 1983
 10. 宍道湖北岸の野生動物, 大氏正己, 宍道湖北岸自然環境保全地域学術調査報告書, 18-32, 1983
 11. 淡水産紅藻オオイシソウ属の日本新産 2 種について, 中村武, 千原光雄, 植物研究雑誌, 58, 22-29, 1983
 12. 中海・宍道湖水系における植物プランクトンおよび着生藻類の推移ならびにその生態学的研究 (VIII), 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書 8, 島根県, 29-52, 1983
 13. 中海に生息する魚介類, 島根県, 中海水鳥渡来水域学術調査報告書, 21-27, 1983
 14. 中海・宍道湖の自然史研究その 2. 宍道湖の底質・底層水および底生動物, 中海・宍道湖自然史研究会, 島根大学地質学研究報告, 2, 79-89, 1983
- 1984 年
1. 中海の植物プランクトン相に関する調査と研究 (X), 伊達善夫, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書 9, 島根県 1-11, 1984
 2. 中海・宍道湖水系における植物プランクトンおよび着生藻類の推移ならびにその生態学的研究 (IX), 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書 9, 島根県, 13-37, 1984
 3. 中海・宍道湖, 公開シンポジウム. 湖沼水質環境の現状と保全, 伊達善夫, 島根大学陸水研究会, 22-27, 1984
 4. The role of tides in removing phosphorus from Lake Nakanoumi, a coastal lagoon in Japan, Otake, H., Nato, H., *Arch. Hydrobiol.*, 99, 1984
 5. 主要 10 湖沼の汚濁の現状と保全への提言—宍道湖, 伊達善夫, 川上誠一, 公害と対策, 20, 1984
 6. 宍道湖・中海のヨシノボリ, 越川敏樹, 水野寿彦教授退官記念誌, 206-214, 1984
 7. 宍道湖の底質と底生動物調査, 島根県水産試験場, 昭和 58 年度赤潮対策技術開発試験報告書・水試資料, 26, 33-48, 1984
 8. 宍道湖の底生動物相と底質 1982 年夏期, 中村幹雄ら, 昭和 57 年島根県水産試験場事業報告, 186-204, 1984
 9. 宍道湖の野生生物—現状・保護・提言—, 島根県野生生物研究会, 宍道湖はいま, 3, 3-22, 1984
 10. 中海・宍道湖の自然特性—中海を中心として, 伊達善夫, 森忠洋, 島根大学農学部紀要, 農村開発, 13, 1984
 11. 中海・宍道湖の水生昆虫に関する研究, 三浦正, 中海・宍道湖の集水域と水域における総合研究, 211, 1984
 12. 中海—汽水生態系と干拓淡水化事業, 大竹久夫, 陸水と人間活動, 門司・高井 (編), 167-208, 東京大学出版会, 1984
 13. 宍道湖・中海の水中沈降物について, 石飛裕, 神谷宏, 島根県衛生公害研究所報, 26, 124-132, 1984
 14. 昭和 59 年度の宍道湖・中海調査結果について, 安田幸伸, 神谷宏, 島根県衛生公害研究所報, 26, 113-132, 1984
 15. 中海・宍道湖の自然史研究—その 3. サイドスキャンソナーとアトラスデソ 20 による宍道湖底の音波調査—, 中海・宍道湖自然史研究会, 島根大学地質学研究報告, 3, 167-174, 1984
 16. 中海・宍道湖周辺における農水産物の流通問題—弓浜半島産地仲買人の行動様式—, 猪俣趣,

中海・宍道湖の集水域と水域における農林業開発と自然環境に関する総合的研究, 38-42, 1984

17. 中海干拓土壌の熟畑化の程度と形態・理化学性, 松井佳久, 若月利之, 中海・宍道湖の集水域と水域における農林業開発と自然環境に関する総合的研究, 138-145, 1984
18. 中海干拓地((屋工区)の土壌微生物学的特性, 達山和紀, 江川宏, 中海・宍道湖の集水域と水域における農林業開発と自然環境に関する総合的研究, 146-152, 1984
19. 中海干拓工事に伴う周辺農地の気温環境の変化に関する小気候学的研究, 小林哲夫, 岩尾俊夫, 中海・宍道湖の集水域と水域における農林業開発と自然環境に関する総合的研究, 196-197, 1984
20. 中海底泥からのリン溶出と関与する細菌について, 松本宗人, 西舩雄二郎, 中海・宍道湖の集水域と水域における農林業開発と自然環境に関する総合的研究, 204-210, 1984
21. *Microcystis aeruginosa* の増殖に及ぼす塩分の影響, 伊達善夫, 森忠洋, 中海・宍道湖の集水域と水域における農林業開発と自然環境に関する総合的研究, 231-237, 1984
22. 有孔虫群集からみた中海・宍道湖の変遷, 紺田功, 関西支部会報(97), 西日本支部会報(81) 合併号, 5-8, 1984

1985年

1. アトラスデソ 20 による宍道湖の音波調査, 中海・宍道湖自然史研究会, 島根大学地質研究報告, 4, 127-132, 1985
2. 汽水湖中海における一次生産に関する研究, 近藤邦男, 水質汚濁研究, 8(11), 744-751, 1985
3. 底泥間隙水中の溶存性有機物が中海の汽水性植物プランクトンの増殖に及ぼす影響, 近藤邦男, 水質汚濁研究, 8, 816-825, 1985
4. 主成分分析法を用いた汽水湖中海下層の水質解析, 近藤邦男, 清家泰, 水質汚濁研究, 8(12), 808-815, 1985
5. 昭和 59 年度中海・宍道湖生物調査業務, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1985
6. 昭和 60 年度赤潮調査報告について, 神谷宏, 石飛裕, 島根県衛生公害研究所報, 27, 110-114, 1985
7. 宍道湖からの報告・汽水生態系を守ろう, 平

塚純一, 東北の自然, 40, 2-3, 1985

8. 宍道湖とその周辺水域の魚類, 越川敏樹, 淡水魚, 11, 10-14, 1985
9. 宍道湖の柵網で漁獲された魚類, 平塚純一, 淡水魚, 11, 15-19, 1985
10. 宍道湖の魚たち, 越川敏樹, 宍道湖の自然, 106-120, 山陰中央新報社, 1985
11. 宍道湖の底生動物, 中村幹雄, 宍道湖の自然, 123-130, 山陰中央新報社, 1985
12. 宍道湖周辺河川の貝類について, 岡村一郎, 宍道湖の自然, 131-132, 山陰中央新報社, 1985
13. 水生昆虫, 谷幸三ら, 宍道湖の自然, 133-137, 山陰中央新報社, 1985
14. トンボ, 淀江賢一郎, 宍道湖の自然, 138-142, 山陰中央新報社, 1985
15. ユスリカ, 宍道湖の自然, 西田秀行, 143-146, 山陰中央新報社, 1985
16. 中海の植物プランクトン相に関する調査と研究(X), 伊達善夫, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第10報), 1-21, 島根県, 1985
17. 中海・宍道湖水系における植物プランクトンおよび底生藻類の推移ならびにその生態学的研究(X), 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第10報), 23-36, 島根県, 1985
18. ルポ・中海, 宍道湖の水, 上野英雄, 技術と人間, 14(12), 38-50, 1985
19. 宍道湖の底生動物と底質の季節変化, 中村幹雄, 山本孝二, 島根県水産試験場事業報告昭和58年度, 195-200, 島根県, 1985
20. 宍道湖の富栄養化に関する研究—無機態窒素, りんの調査, 三木和夫, 島根女子短期大学紀要, 23, 93-97, 1985
21. 宍道湖の自然特性及び宍道湖と中海の水質特性の比較(中海・宍道湖の自然特性), 伊達善夫, 島根大学農学部紀要農村開発, 特別号, 3-6, 1985
22. 宍道湖の魚類相と水環境との関係, 伊達善夫, 越川敏樹, 島根大学農学部紀要農村開発, 特別号, 1985
23. 中海干拓事業の進捗に伴う就業構造の変化と特産物生産(自然特性と結びついた生産力構造), 渡部晴基, 井口隆史, 島根大学農学部紀要農村開発, 特別号, 13-23, 1985
24. 明治・大正・昭和戦前期における宍道湖漁業

(自然特性と結びついた生産力構造), 野田公夫, 島根大学農学部紀要農村開発, 特別号, 25-37, 1985

25. 宍道湖・中海沿岸地域における土地改良事業の課題—予報—(自然特性と結びついた生産力構造), 永田恵十郎, 島根大学農学部紀要農村開発, 特別号, 39-48, 1985
26. 水資源開発と地域の農業・社会問題—中海・宍道湖周辺地域の場合(自然特性と結びついた生産力構造), 永田恵十郎, 島根大学農学部紀要農村開発, 特別号, 49-57, 1985
27. 中海・宍道湖底及びその周辺地域の最上部完新統の花粉分析, 大西郁夫, 島根大学地質学研究報告, 4, 115-126, 1985
28. 防草シートを用いた水路法面の舗装工法—中海干拓地の潮回し水路での試験工法, 天野景敏, 牧恒雄, 農業土木学会誌, 53(10), 899-906, 1985

1986年

1. 汽水湖・中海における窒素代謝Ⅰ—植物プランクトンによる無機態窒素の取り込み, 清家泰, 近藤邦男, 陸水学雑誌, 47(2), 121-132, 1986
2. 汽水湖・中海における窒素代謝Ⅱ—夏期における底泥表層部での脱窒特性, 清家泰, 近藤邦男, 陸水学雑誌, 47(2), 133-141, 1986
3. 汽水湖・中海における窒素代謝Ⅲ—低酸素濃度下における硝化・脱窒, 清家泰, 近藤邦男, 陸水学雑誌, 47(3), 269-278, 1986
4. 宍道湖における微成層の形成とその変化, 菅井隆吉, 牟田口勝平, 陸水学雑誌, 47(4), 315-324, 1986
5. 昭和60年度中海・宍道湖生物調査業務報告, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1986
6. 宍道湖・中海のけん濁物質中の炭素, 窒素, リン, クロロフィル-a濃度について, 神谷宏, 石飛裕, 島根県衛生公害研究所報, 28, 94-97, 1986
7. 宍道湖岸でナゴヤサナエの大量羽化を確認, 佐藤仁志, すかしば, 26, 12-13, 1986
8. 宍道湖に生息するウキゴリ属の1種(第1報), 越川敏樹, 淡水魚, 12, 51-55, 1986
9. 中海の魚類, 越川敏樹, 島根野生生物研究会会報, 4, 7-17, 1986
10. 宍道湖の大橋から宍道湖大橋間の北岸で捕獲した魚類, 桑原弘道, 島根野生生物研究会会報,

4, 57-59, 1986

11. 中海・宍道湖漁業基礎調査定期観測調査について, 山本孝二ら, 昭和59年度島根県水産試験場事業報告, 166-182, 1986
 12. 中海の植物プランクトン相に関する調査と研究(XI), 伊達善夫, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第11報), 1-25, 1986
 13. 中海・宍道湖水系における植物プランクトンおよび底生藻類の推移ならびにその生態学的研究(XI), 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第11報), 26-51, 1986
 14. 宍道湖・中海の淡水化計画—その歴史と問題点(戦後の水質公害をめぐって<特集>), 保母武彦, 公害研究, 15(4), 30-36, 1986
 15. 宍道湖の富栄養化に関する研究—全窒素と全リンの測定, 三木和夫, 島根女子短期大学紀要, 24, 1-8, 1986
 16. 出雲中海沿岸地区の民族, 中海沿岸地区民族資料緊急調査報告, 島根県教育委員会, 221, 1986
 17. 昭和61年度の宍道湖・中海調査結果について, 安田幸伸, 神谷宏, 島根県衛生公害研究所報, 28, 98-101, 1986
 18. 中海・宍道湖の富栄養化防止条例案(銀行実務と民事裁判-149-), 谷啓輔, 判例タイムズ, 37(35), 37-40, 1986
 19. 中海・宍道湖淡水化をめぐって—調和への選択(地域は変わるか—農業・テクノポリス・文化<特集>—地域からの報告), 中川信, 世界, 486, 62-67, 1986
 20. 中海干拓彦名地区の第1次埋立粘土層の性状について, 鳥山暁司, 山本勝三, 農業土木学会誌, 54(12), 1093-1098, 1986
 21. 微生物を指標とした宍道湖・中海の水質調査, 保科健, 他, 日本公衆衛生雑誌, 33(10), 651-656, 1986
- #### 1987年
1. 1986年度宍道湖のナゴヤサナエ羽化殻調査, 淀江賢一郎, すかしば, 27, 12-13, 1987
 2. 昭和61年度中海・宍道湖生物調査業務報告, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1987
 3. 宍道湖・中海の懸濁物質の組成について, 神谷宏, 石飛裕, 島根県衛生公害研究所報, 29, 68-71, 1987
 4. 昭和62年度宍道湖・中海調査結果, 石飛裕,

- 安田幸伸, 島根県衛生公害研究所報, 29, 72-74, 1987
5. 宍道湖東西側線の表層コアにみられる珪藻群集の変遷—半定量的研究, 水野篤行, 隅祐二, 中海・宍道湖の環境変化に関する研究, 研究報告書(上), 33-46, 1987
 6. 中海・宍道湖漁業環境基礎調査定期観測調査について, 山本孝二ら, 昭和60年度島根県水産試験場事業報告, 167-184, 1987
 7. 中海・宍道湖の自然史研究—その6. 中海における1986年度柱状採泥と湖底表層堆積物中の有孔虫・珪藻群集(予報)—, 中海・宍道湖自然史研究会, 松本英二, 島根大学地質学研究报告, 6, 61-84, 1987
 8. 農水省の中間報告最終回答における生物(魚類)から見た問題点, 編集同人, ネットワーク中海・宍道湖, 2(5), 1-6, 1987
 9. わが町エクスカッションガイド—中海周辺の変貌をみる, 岩佐武彦, 地理, 32(2), 117-121, 1987
 10. 干陸用締切り水域(中海干拓本庄地区)内外の表面水温の比較, 小林哲夫, 元田雄四郎, 農業気象, 43(3), 209-214, 1987
 11. 砂土地帯(中海干拓弓浜埋立地区)の暗渠効果, 天谷孝夫他, 農業土木学会誌, 55(12), 1155-1160, 1987
 12. 中海干拓彦名地区の第2次埋立粘土層の性状について, 鳥山暁司, 山本勝三, 農業土木学会誌, 55(2), 117-122, 1987
- 1988年
1. Role of the bivalve *Corbicula japonica* in the nitrogen cycle in a mesohaline lagoon, Nakamura, M., Yamamuro, M., M. Ishikawa, and H. Nishimura, *Marine Biology*, 99(3), 369-374, 1988
 2. Seasonal changes of the distributions of brackish polychaetes in Lake Shinji, Japan, Yamamuro, M., *Jpn. J. Limnol.*, 49(4), 287-292, 1988
 3. 汽水湖「宍道湖」におけるアオコの発生状況について—宍道湖・そして水に思う—, 菅井隆吉, 水, 30(4), 61-65, 1988
 4. 昭和62年度中海・宍道湖生物調査業務, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1988
 5. 昭和63年度の宍道湖・中海調査結果について, 高橋順一, 川上誠一, 島根県衛生公害研究所報, 30, 74-76, 1988
 6. 宍道湖・中海水域におけるチチブの胸びれ斑紋別類型について(予報), 越川敏樹, 島根野生生物研究会会報, 5, 26-28, 1988
 7. 宍道湖・中海とアオコ, 伊達善夫, たたら書房, 49, 1988
 8. 宍道湖・中海のナノプランクトン調査(昭和62年度及び昭和63年度の結果から), 川上誠一, 石飛裕, 島根県衛生公害研究所報, 30, 77-89, 1988
 9. 宍道湖産ワカサギの系群について, 川島隆寿, 島根県水産試験場事業報告昭和61年度版, 196-206, 1988
 10. 宍道湖におけるワカサギ及びシラウオ資源の変動, 川島隆寿, 島根県水産試験場研究報告, 6, 69-80, 1988
 11. 宍道湖のナゴヤサナエ, 大浜祥治ら, 島根野生研会報, 5, 1-15, 1988
 12. 地形・底質・自然史アトラス「中海・宍道湖」, 三梨昂ら, 島根大学理学部, 115, 1988
 13. 中海・宍道湖漁業環境基礎調査定期観測基礎調査について, 山根恭道ら, 昭和61年度島根県水産試験場事業報告, 207-222, 1988
 14. 干拓地における農地整備工—中海干拓揖屋・安来地区の圃場面工を主として, 佐野文彦, 土崎哲男, 農業土木学会誌, 56(12), 1211-1216, 1988
 15. 干拓地土層の農地化過程—中海干拓揖屋・安来地区の事例, 足立忠司[他], 農業土木学会誌, 56(12), 1203-1209, 1988
 16. 現状中海の塩類・溶存酸素等鉛直分布の巨視的パターン, 南勲[他], 農業土木学会論文集, 136, 73-82, 1988
 17. 宍道湖・中海の淡水化事業と住民運動, 川上誠一, 水質汚濁研究, 11(1), 19-23, 1988
 18. 住民が直接請求した景観保全条例—宍道湖・中海景観保全条例(案)(リゾート開発と景観保全法<特集>), 保母武彦, 公害研究, 18(1), 8-14, 1988
 19. 住民の勝利—宍道湖・中海淡水化延期, 吉川晴雄, 前衛, 566, 30-33, 1988
 20. 食卓からしじみをなくすな—中海・宍道湖(カラーグラビア・ルポ), 三沢通博, 月刊社会党, 391, 60-63, 1988
 21. 淡水化に揺れる首相のふるさと—迷走する中海・宍道湖干拓淡水化事業, 中川信, 世界, 511,

196-200, 1988

22. 未来を切りひらく力ー中海・宍道湖淡水化反対運動にみる, 中川信, 世界, 518, 15-18, 1988
23. 中海・宍道湖で問われる行政の無責任ー役人の仕事おこしよりも, 現実的な村おこしを(国家プロジェクトを再検討する<特集>), 保母武彦, エコノミスト, 66 (23), 62-68, 1988
24. 中海・宍道湖の自然史研究ーその 8. 中海・宍道湖より得られた柱状試料の花粉分析, 渡部正巳, 中海・宍道湖自然史研究会, 島根大学地質学研究報告, 7, 25-32, 1988
25. 中海・宍道湖を資源豊かな湖にー淡水化事業の「延期」と共産党, 住民の活動, 中林よし子, あすの農村, 165, 98-102, 1988
26. 中海干拓彦名地区の埋立て粘土の力学的性質と乾燥過程, 鳥山暁司, 島根大学農学部研究報告, 22, 115-120, 1988
27. 中海及び宍道湖の富栄養化と輸入食糧, 若月利之, 島根大学農学部研究報告, 22, 89-94, 1988
28. 島根県シジミと夕日の逆襲ー宍道湖・中海淡水化事業, 25年目のUターン?, 平木民雄, Asahi journal, 30 (7), 78-81, 1988

1989年

1. 宍道湖・中海の水質ー泳げたところからの水質の変遷ー, 伊達善夫, 自治研島根, 245, 2-9, 1989
2. 半閉鎖性水域での水質問題. ー中海・宍道湖ー, 伊達善夫, 第15回日本水質汚濁研究協会セミナー.「ウォーターフロントと水環境」講演資料集, 38-62, 1989
3. 汽水域に生息するハゼ科魚類の分布形態について, 越川敏樹, 公益信託 Takara ハーモニストファンド平成元年度研究活動報告, 101-114, 1989
4. 昭和63年度中海・宍道湖生物調査業務報告, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1989
5. 宍道湖・中海水域におけるハゼ科魚類の季節的な生息状況, 越川敏樹, 島根野生生物研究会会報, 6, 21-25, 1989
6. 宍道湖・中海の藻類が語るもの, 秋山優, 第3回山陰地域研究公開シンポジウム宍道湖・中海の自然環境ー環境はみんなの手でー, 島根大学山陰地域研究総合センター, 45-50, 1989
7. 宍道湖漁場におけるヤマトシジミ現存量調査, 川島隆寿ら, 昭和63年度島根県水産試験場事業報告, 200-, 1989
8. 宍道湖産魚類の検索, 桑原弘道, 島根野生生物研究会会報, 6, 15-19, 1989
9. 宍道湖底層水質の変動, 橋谷博, 奥村稔, 山陰地域研究(自然環境), 5, 75-88, 1989
10. 12年間の定期調査からみた中海・宍道湖の水質ー季節変化, 経年変化, 平年値ー, 伊達善夫, 橋谷博, 山陰地域研究(自然環境), 5, 89-102, 1989
11. 冬季3週間にわたる観測から見た中海の水流と風との関係, 清家泰, 橋谷博, 山陰地域研究(自然環境), 5, 103-108, 1989
12. シンジコハゼ(仮称)の生態と種苗生産, 道津喜衛, ハゼ科魚類の保護・移植に関する研究成果報告書, 1-4, 1989
13. 中海・宍道湖漁場基礎調査定期観測基礎調査について, 山根恭道ら, 昭和62年度島根県水産試験場事業報告, 204-220, 1989
14. 中海底質中の貝類遺骸群集とその変遷, 高安克己ら, 島根大学地質学研究, 8, 33-50, 1989
15. 干拓地軟弱地盤における水路施工ー中海干拓地揖屋(いや)安来(やすぎ)地区の事例, 高山昌照, 松井俊英, 農業土木学会誌, 57(2), 121-125, 1989
16. 宍道湖・中海及び美保湾底質中の重鉍物分布とその起源について, 正岡栄治, 水野篤行, 平岡環境科学研究所報告, 2, 19-50, 1989
17. The tidal exchange in Lake Shinji under low discharge conditions, Ishitobi Y., H. Kamiya, K. Hayashi, M. Gomyoda, *Jpn. J. Limnol.*, 50, 105-113, 1989
18. 中海・宍道湖の自然史ー8年間の研究のまとめから(第10回日本海シンポジウムより), 徳岡隆夫, 大西郁夫, 日本の科学者, 24(6), 348-353, 1989
19. 中海・宍道湖淡水化反対運動の総括(自然との共生めざして<特集>), 島根県労働組合評議会, 月刊総評, 373, 50-55, 1989
20. 中海干拓地の圃場乾燥条件と他との比較, 江崎要, 足立忠司, 農業土木学会誌, 57(2), 127-133, 1989
21. 中海干拓地・安来地区における植生分布と土壌の化学性, 石川重雄[他], 農業土木学会誌, 57(12), 1121-1130, 1989
22. 中海干拓地での溶脱・酸化過程と鉄・硫酸

化細菌数の経年変化, 高井康雄 [他], 日本土壌肥料学雑誌, 60 (2), 151–156, 1989

23. よみがえれ湖, 保母武彦, pp 211, 同時代社, 東京, 1989

1990 年

1. A method for detecting and identifying the lethal environmental factor on a dominant macrobenthos and its application to Lake Shinji, Japan, Yamamuro, M., Nakamura, M., *Marine Biology*, 107 (3), 479–483, 1990
2. Development and management of brackish water zones: A review of the land reclamation and salinity barrier project in Lakes Nakaumi and Sinji, Japan, Hobo, T., *Studies of the San'in Region (Rural Development)*, 6, 69–91, 1990
3. Diatom assemblages in the surface sediments of Lake Shinji and Lake Nakanoumi, Shimane Prefecture, Japan, Kashima, K., *Diatom*, 5, 51–58, 1990
4. Nitrogen metabolism in the brackish Lake Nakanoumi. IV. Seasonal variation of nitrate nitrogen, Seike, Y., Kondo, K., *Jpn. J. Limnol.*, 51, 137–147, 1990
5. Red tides in the brackish Lake Nakanoumi (I). The frequency and causative species of red tides, Kondo, K., Seike, Y., *Bulletin of Plankton Society of Japan*, 36, 103–110, 1990
6. Red tides in the brackish Lake Nakanoumi (II). Relationships between the occurrence of *Prorocentrum minimum* red tide and environmental conditions, Kondo, K., Seike, Y., *Bulletin of Plankton Society of Japan*, 37, 19–34, 1990
7. Red tides in the brackish Lake Nakanoumi (III). The stimulative effects of organic substances in the interstitial water of bottom sediments and in the excreta from *Skeletonema costatum* on the growth of *Prorocentrum minimum*, Kondo, K., Seike, Y., *Bulletin of Plankton Society of Japan*, Jap., 37, 35–47, 1990
8. Relationship between phytoplankton occurrence and salinity or water temperature in brackish lake Nakaumi, 1979–1986, Kondo, K., Seike, Y., *Jpn. J. Limnol.*, 51, 173–187, 1990
9. Relationship between the yearly changes in phytoplankton occurrence and nutrient concentra-

tion in brackish lake Nakaumi, 1974–1986, Kondo, K., Seike, Y., *Jpn. J. Limnol.*, 51, 191–197, 1990

10. 宍道湖・中海水質調査結果について (平成2年度), 神谷宏, 黒崎理恵, 島根県衛生公害研究所報, 32, 95–97, 1990
11. 宍道湖・中海のナノプランクトン調査結果について, 川上誠一, 黒崎理恵, 島根県衛生公害研究所報, 32, 101–125, 1990
12. 宍道湖・中海の水質. 1. 泳げたところからの水質の変遷, 伊達善夫, そうけん情報, 2, 19–33, 1990
13. 宍道湖及びその周辺の淡水海綿について, 益田芳樹, 佐藤國康, *Kawasaki Medical Society*, 16, 67–82, 1990
14. 出雲平野西部の自然史, 大西郁夫, 徳岡隆夫, 山陰地域研究 (自然環境篇), 6, 21–34, 1990
15. 宍道湖・中海の湖底環境, 橋谷博, 奥村稔, 山陰地域研究 (自然環境), 6, 137–146, 1990
16. 宍道湖から単利した *Oscillatoria* sp. の増殖特性, 近藤邦男, 清家泰, 山陰地域研究 (自然環境), 6, 147–155, 1990
17. 中海の水流と風との関係Ⅱ. 流向・流速に及ぼす風の影響, 橋谷博, 清家泰, 山陰地域研究 (自然環境), 6, 157–164, 1990
18. 1988 年夏季の中海における *Microcystis aeruginosa* の分析, 岸岡務, 山陰地域研究 (自然環境), 6, 165–170, 1990
19. 宍道湖の水生昆虫, 淀江賢一郎, 「宍道湖・中海—その環境と生物」, 30–34, 1990
20. 魚類とその分布, 須永哲雄, 「宍道湖・中海の魚貝類」, 1–13, 1990
21. 底生動物とその分布, 底生動物小委員会, 「宍道湖・中海の魚貝類」, 14–21, 1990
22. 中海・宍道湖漁業基礎調査定期観測基礎調査について, 山根恭道ら, 昭和 63 年度島根県水産試験場事業報告, 1990
23. 中海・宍道湖自然史研究—その 14. 宍道湖より得られた柱状試料の珪藻分析—, 鹿島薫, 中海宍道湖自然史研究会, 島根大学地質学研究报告, 9, 159–161, 1990
24. 中海・宍道湖の水質及びプランクトンに関する研究, 伊達善夫, 宍道湖・中海淡水湖化に伴う水管理および生態変化に関する研究委員会, 水質・プランクトン小委員会, 348, 1990
25. 中海における植物プランクトン群集の出現を支配する環境要因, 近藤邦男, 国際生態学シン

ポジウム島根'90「汽水域・その豊かな生態系を求めて」報告集, 19-28, 1990

26. 平成元年度中海・宍道湖生物調査業務報告, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1990
27. 汽水湖沼, 宍道湖・中海の珪藻-1-Mastogloia 属[英文], 後藤敏一, 植物分類・地理, 41(4~6), 143-154, 1990
28. 中海・宍道湖の自然史研究, 高安克己, 上田和昭, 島根大学地質学研究報告, 9, 129-144, 1990
29. 中海・宍道湖の地史と環境変化(湖沼の成因と環境・地質), 徳岡隆夫[他], 地質学論集, 36, 15-34, 1990
30. 中海・美保湾の蛸壺漁, 内田律雄, 季刊文化財, 69, 7-20, 1990
31. 中海における水理特性の2層密度流の実態, 南勲, 藤原正幸, 農業土木学会誌, 58(2), 183-190, 1990
32. 島根県中海干拓地内への汽水性湖水の地下浸透とそれが土壌の無機塩分組成に及ぼす影響について, 松井佳久, 繁田毅, 日本土壌肥料学雑誌, 61(6), 622-630, 1990

1991年

1. 藻類発生防止対策調査(1). 藻類プランクトンの増殖に対する水草類によるアレロパシー効果, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第12報), 島根県, 1-11, 1991
2. 中海・宍道湖水系における植物プランクトンおよび着生藻類の推移ならびにその生態学的研究(XII), 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第12報), 島根県, 12-20, 1991
3. 松江市堀川の藻類プランクトンとその生態, 環境へのエコテクノロジー適用, 秋山優, 日立機電工業株式会社報告書, 1-2, 1991
4. Relationship between phytoplankton occurrence and salinity or water temperature in brackish Lake Nakaumi, Kondo, K., *Proc. Inter. Symp. Ecol. Shimane'90*, 21-31, 1991
5. 大橋川の魚類相, 越川敏樹, 汽水湖研究, 1, 29-32, 1991
6. 山陰地方における淡水エビの分布について, 宇田川弘泰ら, 島根野生学会報, 7, 19-21, 1991
7. 知られざる中海湖底の四季, 橋谷博, 奥村稔, 山陰地域研究(自然環境), 7, 105-112, 1991
8. 宍道湖・中海汽水域における大型藻類及び海生沈水草本植物群落とその分布, 杵村喜則, 小池文人, 汽水湖研究, 1, 81-86, 1991
9. 宍道湖・中海の植物プランクトン調査結果について, 神谷宏, 島根県衛生公害研究所報, 33, 98-100, 1991
10. 宍道湖のナゴヤサナエ2, 大浜祥治ら, すかしば, 35, 15-17, 1991
11. 宍道湖のヤマトシジミ漁場ならびに保護区, 坂本巖ら, 汽水湖研究, 1, 25-27, 1991
12. 宍道湖への高塩分水の流入, 橋谷博, 奥村稔, 山陰地域研究(自然環境), 7, 83-92, 1991
13. 宍道湖流入河川の水生昆虫相実態調査と生物学的水質判定(1), 谷幸三ら, 汽水湖研究, 1, 33-72, 1991
14. 月1回の定期調査からみた中海・宍道湖の水質-地点間変動, 橋谷博, 清家泰, 山陰地域研究(自然環境), 7, 93-104, 1991
15. 中海・宍道湖漁場基礎調査定期観測基礎調査, 山根恭道ら, 平成元年度島根県水産試験場事業報告, 184-194, 1991
16. 平成2年度中海・宍道湖生物調査業務報告書, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1991
17. 汽水域の窒素循環における大型底生動物の役割-宍道湖を例にして-, 山室真澄, 小池勲夫, 国際生態学シンポジウム島根'90報告集, 121-128, 1991
18. 宍道湖・中海の湖底泥に関する調査研究について, 島根県衛生公害研究所報, 33, 117, 1991
19. 中海の優占藻類種間の相互作用, 持田和男[他], 島根大学農学部研究報告, 25, 143-147, 1991
20. 島根県における旧石器時代研究の現状と課題-宍道湖周辺を中心に-, 丹羽野裕, 島根考古学会誌, 8, 57-66, 1991
21. 河川水辺の一斉調査・中海, 建設省出雲工事事務所, 67, 1991

1992年

1. 藻類発生防止対策調査(2). 藻類プランクトンの増殖に対する海藻類およびアマモ類によるアレロパシー効果, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第13報), 島根県, 1-9, 1992

2. 藻類発生防止対策調査(3). 藻類プランクトンの増殖に対する水草類によるアレロパシー効果, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第13報), 島根県, 1992
 3. 藻類発生防止対策調査(4). 藻類プランクトンの増殖に対するシャジクモ類によるアレロパシー効果, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第13報), 島根県, 1992
 4. 藻類発生防止対策調査(5). 藻類プランクトンの増殖に対する種子植物によるアレロパシー効果, 秋山優, 中海・宍道湖の水質保全に関する調査報告書(第13報), 島根県, 1992
 5. 朝酌川の水質調査, 松江東高生物部, 平成3年度高文連自然科学部門研究集録, 61-65, 1992
 6. 島根県のトンボ相(Ⅲ), 大浜祥治ら, すかしば, 37/38, 81-106, 1992
 7. 宍道湖・中海水質調査結果について(平成4年度), 神門利之, 神谷宏, 島根県衛生公害研究所報, 34, 96-98, 1992
 8. 宍道湖・中海の植物プランクトンの調査結果(1992年度), 江角比出郎, 島根県衛生公害研究所報, 34, 99-105, 1992
 9. 宍道湖・中海におけるシラウオ系群の再検討, 川島隆寿, 土江征典, 島根県水産試験場研究報告, 7, 81-94, 1992
 10. x線マイクロアナライザーによる中海湖底柱状堆積物におけるC,S,Feの垂直分布-EPMA元素カラーマッピングによる検討-, 三瓶良和, 高須晃, 山陰地域研究(自然環境), 8, 11-20, 1992
 11. 宍道湖・中海の水質変動に与える気象・海象の影響(その1). 大橋川栄養塩フラックス調査, 橋谷博, 奥村稔, 山陰地域研究(自然環境), 8, 51-67, 1992
 12. 宍道湖・中海の水質変動に与える気象・海象の影響(その2), 1982~1991年の水質変動と気象5因子, 橋谷博, 奥村稔, 山陰地域研究(自然環境), 8, 69-86, 1992
 13. 学術論文に見る中海水質の変遷, 佐野茂, 山陰地域研究, 8, 95-106, 1992
 14. 中海北部(本庄工区)アトラス, 徳岡隆夫, 高安克己, 島根大学山陰地域研究センター, 92, 1992
 15. 宍道湖のヤマトシジミの生息域としての湖岸ヨシ帯, 坂本巖, 汽水湖研究, 2, 7-14, 1992
 16. 宍道湖・中海水域におけるハゼ類の分布(1)-チチブ属4種とウキゴリ属2亜種について-, 越川敏樹, 汽水湖研究, 2, 49-56, 1992
 17. 宍道湖流入河川の水生昆虫相実態調査と生物学的水質判定(2), 谷幸三ら, 汽水湖研究, 2, 71-86, 1992
 18. 中海, 宍道湖, 田中正明, 日本湖沼誌, 495-504, 名古屋大学出版会, 1992
 19. 中海・宍道湖漁場基礎調査定期観測基礎調査, 山根恭道ら, 平成2年度島根県水産試験場事業報告, 204-214, 1992
 20. 平成3年度中海・宍道湖生物調査業務報告書, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1992
 21. 中海の底泥表層における硫酸塩還元活性の季節変化[英文], 森忠洋, 山下繁樹, 日本水処理生物学会誌, 27(2), 1-6, 1992
- 1993年
1. 「山陰のトンボ」, 大浜祥治ら, 山陰中央新報社, 200, 1993
 2. Nitrogen metabolism of the filter-feeding bivalve *Corbicula japonica* and its significance in primary production at a brackish lake in Japan, Yamamuro, M., Koike, I., *Limnol. Oceanog.*, 38(5), 997-1007, 1993
 3. 汽水湖生態系の特性と日本における研究の現状, 國井秀伸, 高安克己, 日本生態学会誌, 43, 195-209, 1993
 4. 汽水湖沼における現生および化石珪藻群集, 鹿島薫, 地質学論集, 39, 7-14, 1993
 5. 宍道湖のヤマトシジミ稚貝の生息域, 坂本巖, 汽水湖研究, 3, 5-7, 1993
 6. 宍道湖・中海水域におけるハゼ類の分布(2)-宍道湖・中海産のチチブとヌマチチブの特徴-, 越川敏樹, 汽水湖研究, 3, 63-69, 1993
 7. 宍道湖・中海の植物プランクトンの調査結果(1993年度), 江角比出郎, 島根県衛生公害研究所報, 35, 76-83, 1993
 8. 宍道湖の赤潮とアオコ, 秋山優, URBAN KUBOTA, 32, 1, 1993
 9. 海跡湖の地史-中海・宍道湖-, 高安克己, 徳岡隆夫, URBAN KUBOTA, 32, 38-74, 1993
 10. 宍道湖の環境群と生物群集, 園田武ら, 平成3年度島根県水産試験場事業報告, 189-200, 1993
 11. 中海浚渫跡地に集積した浮泥の特性, 秋葉道

- 広, 橋田隆史, 環境工学研究論文集, 30, 243-, 1993
12. 中海の環境群と生物群集, 沢村貴史ら, 平成3年度島根県水産試験場事業報告, 201-211, 1993
 13. 平成4年度中海・宍道湖生物調査業務報告書, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1993
 14. 松江の堀川-移り変わりと汚濁問題-, 伊達善夫, 自治研島根, 297, 1-16, 1993
 15. 宍道湖・中海のトンボ, 魚類, 鳥類, 板倉宏文ら, 「市民と結ぶ宍道湖・中海研究展」, 13, 1993
 16. ヤマトシジミの働きから見た宍道湖の特徴, 中村幹雄ら, 「市民と結ぶ宍道湖・中海研究展」, 14-15, 1993
 17. 大型底生動物から見た宍道湖の特徴, 中村幹雄ら, 「市民と結ぶ宍道湖・中海研究展」, 16-17, 1993
 18. 宍道湖・中海の付着生物群集, 原田英司ら, 「市民と結ぶ宍道湖・中海研究展」, 18-19, 1993
 19. 汽水域における完新世の古環境解析-中海堆積物を例として-, 三瓶良和, 松本英二, 一九九三年度名古屋大学大気圏科学研究所共同研究報告書, 22, 1993
 20. 中海・宍道湖周辺地域における過去2000年間の花粉分帯と植生変化(湖沼の成因と環境・地質-統一), 大西郁生, 地質学論集, 39, 33-39, 1993
 21. 汽水湖の望ましい環境づくりにおける地質学の役割-中海・宍道湖を例として(湖沼の成因と環境・地質-統一), 徳岡隆夫, 地質学論集, 39, 167-172, 1993
 22. 中海・宍道湖の自然はいかにして形成されたか?-湖底堆積物から見た過去二千年の環境変化-, 高安克己, 公開シンポジウム報告書中海・宍道湖とその流域-豊かな自然と文化を未来, 15-40, 1993
 23. 中海・宍道湖周辺の古代集落, 内田律雄, 公開シンポジウム報告書 中海・宍道湖とその流域-豊かな自然と文化を未来, 41-61, 1993
 24. 中海・宍道湖集水域の植生-過去と未来をつなぐ鎮守の森-, 宮田逸夫, 公開シンポジウム報告書 中海・宍道湖とその流域-豊かな自然と文化を未来, 61-84, 1993
 25. 中海・宍道湖圏域における人口の動向と将来予測, 藤岡光夫, 公開シンポジウム報告書中海・宍道湖とその流域-豊かな自然と文化を未来, 85-112, 1993
 26. 中海・宍道湖周辺における産業の史的展開, 内藤正中, 公開シンポジウム報告書 中海・宍道湖とその流域-豊かな自然と文化を未来, 113-138, 1993
 27. 海跡湖をめぐる, 徳岡隆夫他, URBAN KUBOTA, 32: 2-29
- 1994年
1. Diel change of nitrogen species in surface and overlying water of shallow eutrophic lake in summer, Yamamuro, M., Koike, I., *Limnology and Oceanography*, 39 (7), 1726-1733, 1994
 2. 汽水湖中海における栄養塩類及び植物プランクトンの鉛直分布を支配する塩分躍層の役割, 近藤邦男, 清家泰, 陸水学雑誌, 55, 47-60, 1994
 3. 宍道湖・中海水質調査結果(平成5年度), 神谷宏, 神門利之, 島根県衛生公害研究所報, 35, 73-75, 1994
 4. 宍道湖・中海水質調査結果(平成6年度), 神谷宏, 神門利之, 島根県衛生公害研究所報, 36, 101-103, 1994
 5. 宍道湖・中海の植物プランクトン水質調査結果(平成6年度), 神谷宏, 島根県衛生公害研究所報, 36, 104-110, 1994
 6. 宍道湖におけるワカサギ資源の変動, 松本洋典, 島根県水産試験場研究報告, 8, 171-183, 1994
 7. 宍道湖の大型底生動物の季節変化, 中村幹雄ら, 平成4年度島根県水産試験場事業報告, 212-219, 1994
 8. 中海・宍道湖漁場環境基礎調査定期観測基礎調査, 安木茂ら, 平成4年度島根県水産試験場事業報告, 253-269, 1994
 9. 塩水楔調査のための水中音響探査機の開発, 西村清和ほか, LAGUNA, 1, 1-9, 1994
 10. 音波探査による中海・宍道湖の塩分躍層の検討とその意義, 徳岡隆夫ほか, LAGUNA, 1, 11-26, 1994
 11. 中海・宍道湖における現生および化石珪藻群集に関する最近の話題, 鹿島薫, LAGUNA, 1, 37-43, 1994
 12. Dinoflagellate cysts assemblage found in the

surface sediments of Lake Nakaumi, western Japan, Kojima, N., K. Seto, K. Takayasu, M. Nakamura, LAGUNA, 1, 45-51, 1994

13. 宍道湖周辺のため池におけるヒツジグサの定着に及ぼす水生動物の影響, 三原健吾, 國井秀信, LAGUNA, 1, 53-58, 1994
14. 中海・宍道湖に生息するトンボ類とその塩分耐性, 竹内和彦ら, LAGUNA, 1, 59-64, 1994
15. 平成5年度中海・宍道湖生物調査業務, アジア航測, 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 1994
16. マッドランプー中海, 飯梨川河口ー, 徳岡隆夫, 山内靖喜, 島根大学汽水域研究センター特別報告, 1, 130, 1994
17. 食物連鎖を利用した水質浄化技術, 山室真澄, 化学工学, 58 (3), 217-220, 1994
18. 中海干拓と水環境, 島根大学汽水域研究センター, 島根大学汽水域研究センター特別報告, 第2号, pp 52

1995年

1. Role of aquatic birds on nutrient cycling in eutrophic lakes, Yamamuro, M., Oka, N., *Proceedings of 6th International Conference on the Conservation and Management of Lakes*, 2, 775-776, 1995
2. 宍道湖の富栄養化, 石飛裕, 神門利之, 第6回世界湖沼会議霞ヶ浦'95年論文集, 1289-1292, 1995
3. 朝酌川の水質と生物, 松江東高校, H6年度高文連研究集録, 28-31, 1995
4. シジミ3種の系統とヤマトシジミ個体群のアイソザイム多型, 初見真智子, 中村幹雄, *Venus*, 54 (3), 185-193, 1995
5. 宍道湖の淡水湖化時のヤマトシジミ生息状況, 坂本巖ら, 汽水湖研究, 4, 5-19, 1995
6. 宍道湖・中海水域におけるハゼ類の分布(3)ー宍道湖におけるハゼ類の生息状況ー, 越川敏樹, 汽水湖研究, 4, 62-67, 1995
7. 宍道湖のヨシ帯とマクロベントス, 坂本陽一ら, 汽水湖研究, 4, 68-72, 1995
8. 宍道湖流入河川の水生昆虫相実態調査と生物学的水質判定(3), 谷幸三ら, 汽水湖研究, 4, 73-93, 1995
9. 平成6年度ベントス調査業務, 島根県環境保健公社, 建設省中国地方建設局出雲工事事務

所, 1995

10. 堀川のプランクトン. 松江の堀川, 達山和紀, 歴史と自然, 28-29, 1995
11. 松江市堀川における植物プランクトンの種類組成と季節変化, 高橋佐和子, 大谷修司, 松江堀川の水質と自然環境変化と生態系動向(平成6年度)報告書, 1995
12. 海跡湖の環境変遷と歴史に学ぶ土地利用, 徳岡隆夫, 海岸・沿岸域を考える IGBP・LOICZ 研究計画シンポジウム講演要旨集, 75-78, 1995
13. 汽水域の底生動物と環境変化, 山室真澄, 陸水学雑誌, 56 (1), 72-73, 1995
14. 汽水域生態系の特色を活かした富栄養化対策, 山室真澄, 日本海学会誌, 49(3), 129-135, 1995
15. 中海・宍道湖における連系振動ー解析解に基づく理論的考察, 藤井智康, 奥田節夫, 陸水学雑誌, 56 (4), 291-296, 1995
16. 湖水環境の人為的改造と底生有孔虫の群集変化: その1 島根県中海本庄工区の場合, 野村律夫, 猪口靖, LAGUNA, 2, 1-9, 1995
17. 汽水域・塩分躍層の動態長期観測システムの開発(予報), 徳岡隆夫ほか, LAGUNA, 2, 21-27, 1995
18. 汽水棲シジミ2種の殻体内部構造, 小林巖雄, 高安克己, LAGUNA, 2, 33-51, 1995
19. 宍道湖および斐伊川河口域の流入河川における1985年から1994年にかけての水生植物相の変化, 國井秀伸, 佐藤あすか, LAGUNA, 2, 53-56, 1995
20. 富栄養化湖沼における食物連鎖を利用した水質浄化技術に関する研究, 山室真澄, 平成6年度国立機関公害防止等試験研究成果報告書, 50, 1-15, 1995

1996年

1. Role of filter-feeding bivalves and aquatic birds in estuarine ecosystems, Yamamuro, M., *Proceedings of the Third International Symposium of ETERNET - APR: Conservation of the Hydrospheric Environment*, 6, 34-39, 1996
2. 汽水性潟湖である宍道湖における魚類相の周年変化, 山室真澄, 平塚純一, 陸水学雑誌, 57 (3), 273-281, 1996
3. 松江市堀川における植物プランクトンの種類組成と季節変化, 大谷修司, 岡奈津子, 松江

- 堀川の水質と自然環境変化と生態系動向(平成7年度)報告書, 松江市, 1996
4. ヤマトシジミの塩分耐性, 中村幹雄, 安木茂, 水産増殖, 44 (1), 31-35, 1996
 5. ヤマトシジミの温度耐性, 中村幹雄, 品川明, 水産増殖, 44 (3), 267-271, 1996
 6. 夏季の宍道湖の底層水に蓄積する栄養塩の起源, 神谷宏, 石飛裕, 陸水学雑誌, 57(4), 313-326, 1996
 7. 未攪乱底泥コアを用いた連続培養系での酸素消費・溶出実験, 中村由行, 井上徹教, 海岸工学論文集, 43, 1091-1095, 1996
 8. 中海における過去 8,000 年間の有機炭素埋積速度 - Carbon Sink としての汽水域堆積物(特集湖沼堆積物 - 地球環境変動の“高精度検出計”), 三瓶良和, 松本英二, 第四紀研究, 35(2), 113-124, 1996
 9. 島根東部の完新世環境変遷と低湿地遺跡, 中村唯史, 徳岡隆夫, LAGUNA, 3, 9-11, 1996
 10. 湖水環境の人為的改造と底生有孔虫の群集変化その3 中海東部の過去数 10 年の環境変化, 野村律夫, 山根幸夫, LAGUNA, 3, 13-24, 1996
 11. 湖水環境の人為的改善と底生有孔虫の群集変化その4 有孔虫の群集変化に対応した化学的酸素要求量(COD)と宍道湖水の変化, 野村律夫, LAGUNA, 3, 25-31, 1996
 12. 渦鞭毛藻シスト群集による中海上部完新統の古環境分析, 小島夏彦, 芳山聡, LAGUNA, 3, 41-48, 1996
 13. 宍道湖における 17 世紀初頭の汽水から淡水への環境変化, 田村嘉之, 丹後雅憲, LAGUNA, 3, 49-56, 1996
 14. 宍道湖における衛星同期水質調査(その1), 作野裕司, 高安克己, LAGUNA, 3, 57-72, 1996
 15. 汽水湖中海における塩分躍層動態の長期観測, 徳岡隆夫, 三瓶良和, LAGUNA, 3, 73-90, 1996
 16. 斐伊川から宍道湖へ流出する汚濁負荷量の推定, 武田育郎, 福島あきら, LAGUNA, 3, 91-96, 1996
 17. 宍道湖湖心における水深別クロロフィル量と光合成速度の季節変化(予報), 國井秀伸, LAGUNA, 3, 97-101, 1996
 18. 宍道湖産ヤマトシジミ殻体の微細成長縞の観察, 高安克己, 小林巖雄, LAGUNA, 3, 103-110, 1996
 19. 宍道湖の湖岸におけるフナムシの分布, 津下麻樹, 星川和男, LAGUNA, 3, 127-129, 1996
 20. 日本海洋学会沿岸海洋研究部会・日本プランクトン学会合同シンポジウム「閉鎖性汽水域における物理・化学・生物学的過程」コンペーパー報告, 山室真澄, 日本プランクトン学会報, 43 (2), 165-168, 1996
 21. 富栄養化湖沼における食物連鎖を利用した水質浄化技術に関する研究, 山室真澄, 平成7年度国立機関公害防止等試験研究成果報告書, 47, 1-11, 1996
 22. 閉鎖性水域の環境影響評価に関する見解・中海本庄工区干拓事業の場合, 日本海洋学会海洋環境問題委員会, 海の研究, 5(5・6), 333-344, 1996
 23. 本庄工区はいま… - 中海干拓事業再開か -, 國井秀伸, 山室真澄, 陸水通信, 8, 10-12, 1996
 24. 魚類や鳥類にとっての中海, 山室真澄, 自然保護, 404, 12-13, 1996
 25. 県が推進する有害無益の事業工事再開目指す島根県の真の狙い - 中海干拓(特集税金をむさぼる者たち - 告発! 公共事業の“病巣”), 週刊東洋経済, 5392, 20-24, 1996
 26. 今, 地方で…第29回今なぜ!!揺れる中海干拓再開 - 進むも地獄, 退くも地獄の「知事の決断」, 引野道生, 月刊官界, 22(10), 184-189, 1996
 27. 子孫のために中海・本庄水域を守る, 森忠洋, 資源環境対策, 32(11), 1030-1035, 1996
 28. 住民の声をきちんと聞け! - 中海干拓事業の復活をやめさせよう!, 西村敏, 月刊状況と主体, 247, 57-64, 1996
 29. ルポルタージュ魚介類の宝庫中海を守れ, 保母武彦, 月刊労働組合, 365, 35-39, 1996
 30. 中海土地改良事業をめぐる住民運動(特集住民運動の現在), 保母武彦, 都市問題, 87(10), 43-53, 1996
 31. 宍道湖・中海水系の藻類, 宍道湖・中海の藻類研究会出版, 1996
 32. 感潮域の底生動物, 山室真澄, 河川感潮域(西條八東, 奥田節夫編), 151-172, 名古屋大学出版会, 1996
- 1997年
1. “意外な陰の立役者”貝や水鳥の水質浄化機能, 山室真澄, かんきょう, 40-41, 1997
 2. Relationship of internal waves with tide and wind

- drift effects and propagation of internal kelvin waves in brackish Lake Nakaumi, Fujii T., *Jpn. J. Limnol.*, 58 (3), 241-260, 1997
3. 中海におけるオゴノリ漁による窒素・リン除去量の見積もり, 山室真澄, 陸水学雑誌, 58 (3), 317-322, 1997
 4. 汽水湖沼沿岸部における水温・水質構造の日周変動-鉛直対流循環が二枚貝生態系に及ぼす影響-, 中村由行, Kerciku, F, 水工学論文集, 41, 469-474, 1997
 5. 栄養塩の溶出及びSODに関する室内実験手法の提案, 中村由行, 井上徹教, 水工学論文集, 41, 433-438, 1997
 6. 汽水湖沼における強風下での混合現象の連続観測, 中村由行, 柳町武志, 水工学論文集, 41, 475-480, 1997
 7. 汽水域における水塊の移動と混合過程, 奥田節夫, 沿岸海洋研究, 35, 5-13, 1997
 8. 汽水湖中海における貧酸素水塊形成時の硝化・脱窒, 清家泰, 奥村稔, 沿岸海洋研究, 35, 27-33, 1997
 9. 宍道湖・中海水系の植物プランクトンの種類組成と経年変化, 大谷修司, 沿岸海洋研究, 35 (1), 35-47, 1997
 10. 汽水域での高次生産者を通じた窒素・リンの収支, 山室真澄, 沿岸海洋研究, 35 (1), 69-73, 1997
 11. 宍道湖・中海水域におけるハゼ類の分布 (4) -当水域の生息状況と主な種について-, 越川敏樹, 汽水湖研究, 5, 14-22, 1997
 12. ヤマトシジミ硫化水素耐性, 中村幹雄, 品川明, 水産増殖, 45 (1), 17-24, 1997
 13. 宍道湖および中海産二枚貝4種の環境耐性, 中村幹雄, 品川明, 水産増殖, 45 (2), 179-185, 1997
 14. 宍道湖のヨシ帯におけるマクロベントス群集多様性の季節変化, 原田茂樹, 中村幹雄, LAGUNA, 4, 11-18, 1997
 15. 中海本庄水域の魚類, 越川敏樹, LAGUNA, 4, 19-27, 1997
 16. 宍道湖における衛星同期水質調査 (その2), 作野祐司ほか, LAGUNA, 4, 29-37, 1997
 17. 宍道湖堆積層中のシジミ貝殻層の発見とその意義, 徳岡隆夫, 中村唯史, 三瓶良和, LAGUNA, 4, 77-83, 1997
 18. 環境保全運動の展開過程における地域性-中海・宍道湖の干拓・淡水化反対運動を事例として, 浅野敏久, 地理科学, 52 (1), 1-22, 1997
 19. 宍道湖・中海を守り育てる下水道-リン除去と資源化の活用に向けて (島根県) (特集高度処理から超高度処理まで-高度処理人口1,500万人へのアプローチ-高度処理技術開発に見る地域性と多様性), 塚本隆富, 月刊下水道, 20 (5), 56-59, 1997
 20. 食物連鎖を利用した水質浄化技術, 山室真澄, 地質ニュース, 520, 34-41, 1997
 21. 中海干拓事業の動向-その経過と問題点と展望 (特集環境自治体づくりの現状), 川上誠一, 月刊自治研, 39 (4), 79-86, 1997
 22. 島根地域での地方分権論議 (1) 中海干拓問題 (特集地方分権), 富野暉一郎, 判例タイムズ, 48 (10), 111-113, 1997
 23. 富栄養化湖沼における食物連鎖を利用した水質浄化技術に関する研究, 山室真澄, 平成8年度国立機関公害防止等試験研究成果報告書, 47, 1-14, 1997
- 1998年
1. Concentrations of nitrogen in sandy sediments of a eutrophic estuarine lagoon, Yamamuro, M., Koike, I., *Hydrobiologia*, 386, 37-44, 1998
 2. Eutrophication control through food web management in estuarine lagoons? A case study of Lake Shinji and Lake Nakaumi, Yamamuro, M., *Proceedings of the Seventh Japanese - German Workshop on Waste Water and Sludge Treatment*, 267-275, 1998
 3. Predation by diving ducks on biofouling mussel *Musculista senhousia* in a eutrophic estuarine lagoon, Yamamuro, M., Oka, N., *Marine Ecology Progress Series 174*, 101-106, 1998
 4. Relationship between internal oscillation and movement of anoxic water in a connected brackish water region -Lake Nakaumi and the Ohasi River, Fujii, T., *Jpn. J. Limnol.*, 59 (1), 1-12, 1998
 5. Improving lagoonal environments for future generations-A case study of Lakes Nakaumi and Shinji, Japan, Tokuoka, T., K. Takayasu, LAGUNA, 5, 1-10, 1998
 6. コア SJ 96 の概要と宍道湖の古環境変遷, 高安克己, 出雲古代景観復元チーム, LAGUNA, 5, 1-13, 1988

7. 汽水域における人為的改造と有孔虫群集の変化—その5 Ammonia イベントの提唱と2005年の宍道湖—, 野村律夫, 遠藤公史, LAGUNA, 5, 15–26, 1998
 8. 美保湾・中海・宍道湖に至る環境と介形虫群集との関係, 田中源吾, 瀬戸浩二, 高安克己, LAGUNA, 5, 81–91, 1998
 9. 宍道湖・中海・神西湖の多毛類相, 園田武, 中尾繁樹, LAGUNA, 5, 101–108, 1998
 10. 中海および浜名湖表層堆積物の有機炭素・窒素・イオウ濃度分布, 倉門由紀子, 三瓶良和, 高安克己, 川尻敏文, 坂崎繁樹, LAGUNA, 5, 123–135, 1998
 11. 中海本庄水域周辺承水路の水塊動態, 高安克己, LAGUNA, 5, 161–173, 1998
 12. 中海本庄工区の水質特性, 相崎守弘, 秋葉道宏, LAGUNA, 5, 175–182, 1998
 13. 衛星リモートセンシングによる中海・宍道湖の水質濃度マッピング(その1)アオコ発生時の透明度, 懸濁物質濃度およびクロロフィル a 濃度の面的把握, 作野裕司, 中山大介, LAGUNA, 5, 183–196, 1998
 14. 中海本庄工区で観察された水鳥の個体数変化, 神谷要, 国井秀伸, LAGUNA, 5, 237–242, 1998
 15. 本庄工区と北部承水路棧域における底生魚類相, 越川敏樹, 汽水湖研究, 6, 35–40, 1998
 16. 汽水湖中海における海藻・海草類の分布と現存量, 島村京子, 中村幹雄, 水産増殖, 46 (2), 219–224, 1998
 17. 宍道湖・中海周辺採集地案内, 大谷修司, 藻類, 46 (1), 27–30, 1998
 18. 島根県宍道湖の底質における堆積速度と堆積環境, 金井豊, 井内美郎, 地球化学, 32 (2), 71–85, 1998
 19. 二枚貝が優占する汽水湖沼の水質のモデル化, 中村由行, Fatos Kerciku, 海岸工学論文集, 45, 1046–1050, 1998
 20. 富栄養化湖沼における食物連鎖を利用した水質浄化技術に関する研究, 山室真澄, 平成9年度国立機関公害防止等試験研究成果報告書, 49, 1–16, 1998
 21. 島根県の動物相に関する文献目録 Part 2 (1996–1997年), 淀江賢一郎, 鶴崎展巨, ホシザキグリーン財団研究報告, 2, 91–107, 1998
 22. 宍道湖西海岸の親水公園の造成とヤマトシジミの繁殖, 坂本巖, ホシザキグリーン財団研究報告, 2, 137–164, 1998
 23. 中海・宍道湖で行ったマガンの日没前後の観察結果, 神谷要, 土居克夫, ホシザキグリーン財団研究報告, 2, 275–281, 1998
 24. 1997年度島根県カモ科鳥類生息調査報告, 脇坂英弥, ホシザキグリーン財団研究報告, 87–90, 1998
 25. 宍道湖におけるシジミ大量へい死対策緊急調査報告書, pp 75, 島根県
 26. 汽水湖沼におけるヤマトシジミの水質浄化機能に関するボックスモデル解析, 中村由行, F. Kerciku, 井上徹教, 二家本晃造, 用水と廃水, 40, 18–26, 1998
- 1999年
1. SPOT/HVR データによるアオコ発生時の宍道湖表層クロロフィル a 濃度分布の推定, 作野祐司, 松永恒雄, 日本リモートセンシング学会, 19 (2), 20–36, 1999
 2. 中海に施工した覆砂底におけるマクロベントス群集構造の遷移, 安木茂, 中村幹雄, 水産増殖, 47 (2), 181–190, 1999
 3. 島根県の淡水魚(既報の整理), 山口勝秀, ホシザキグリーン財団研究報告, 3, 1–38, 1999
 4. 中海南岸域における魚類の生息状況—安来・論田における小型定置網の漁獲内容から—, 越川敏樹, ホシザキグリーン財団研究報告, 3, 239–249, 1999
 5. 宍道湖におけるカモ科鳥類の越夏状況, 森重晃, ホシザキグリーン財団研究報告, 3, 285–298, 1999
 6. 本庄水域の魚類, 越川敏樹, 中海本庄工区の生物と自然, 71–84, たたら書房, 1999
 7. 中海本庄工区干拓事業, 山室真澄, 日本海洋学会編「明日の沿岸環境を築く」, 41–43, 恒星社 厚生閣, 1999
 8. 中海本庄工区の水質特性, 清家泰, 奥村実, 藤永薫, 大谷修司, 千賀有希子, 岡宏樹, LAGUNA, 6, 1–9, 1999
 9. 中海本庄工区北部承水路堤潮通しパイプ付近の水の動き, 高安克己, LAGUNA, 6, 11–17, 1999
 10. 塩濃度の変化から推定した本庄水域の表層水の交換率, 小池文人, 相崎守弘, 清家泰, 秋葉道宏, 奥村稔, 藤永薫, LAGUNA, 6, 19–25, 1999
 11. 本庄工区パイプ潮通し付近の底層水の動態観

- 測, 上野博芳, 徳岡隆夫, 三瓶良和, 高安克己, 西村清和, 須崎聡, 松田滋夫, 久保田俊輔, 鈴木重教, LAGUNA, 6, 27-35, 1999
12. 中海本庄工区に設置された潮通しパイプ交換水の水質特性, 福井真司, 青井亜矢子, 藤岡克己, 前田伊佐武, 三浦真吾, 相崎守弘, LAGUNA, 6, 37-42, 1999
 13. 中海本庄工区の水質特性と潮通しの影響, 藤岡克己, 青井亜矢子, 前田伊佐武, 相崎守弘, LAGUNA, 6, 43-48, 1999
 14. 本庄工区への負荷量の算定と水質浄化能の評価, 相崎守弘, 今吉篤子, LAGUNA, 6, 49-55, 1999
 15. 中海湖心および中海本庄工区における 1996 年から 1998 年にかけての表層水の光合成速度の季節変化, 國井秀伸, LAGUNA, 6, 57-62, 1999
 16. 中海本庄工区における植物プランクトンの種類組成と現存量の季節変化, 大谷修司, 清家泰, 奥村稔, 相崎守弘, LAGUNA, 6, 63-71, 1999
 17. 中海本庄工区内外における動物プランクトン群集の季節変動, 大塚攻, 星名照美, 清家泰, 國井秀伸, 西田周平, LAGUNA, 6, 89-105, 1999
 18. 中海本庄工区におけるベントス相と環境特性(予報), 藤本真子, 高安克己, 山口啓子, 園田武, LAGUNA, 6, 107-117, 1999
 19. 湖水環境の人為的改造と底生有孔虫の群集変化; その 7 珪藻 *Cyclotella* の産出による堆積年代の推定とその意義, 野村律夫, LAGUNA, 6, 123-127, 1999
 20. 中海本庄水域の植物表生珪藻 1 宿主植物による種組成の違い, 大塚泰介, 辻彰洋, LAGUNA, 6, 129-143, 1999
 21. 中海本庄水域におけるアサリの生残と成長一関連する要因の予察と潮通しパイプの効果の検討一, 山口啓子, 門脇義男, 藤森恒至, 吉松康仁, LAGUNA, 6, 145-156, 1999
 22. 出荷内容から見た中海本庄工区内における魚介類の生息状況, 越川敏樹, LAGUNA, 6, 157-164, 1999
 23. 中海本庄工区の底質環境, 三瓶良和, 徳岡隆夫, 藤森恒至, 吉松康仁, LAGUNA, 6, 165-177, 1999
 24. 塩分躍層(塩水楔)動態観測システムの開発ー汽水域の貧酸素水塊問題への貢献ー, 徳岡隆夫, 三瓶良和, 亀井健史, 西村清和, 鈴木重教, 松田滋夫, 久保田俊輔, 須崎聡, 上野博芳, LAGUNA, 6, 179-187, 1999
 25. 本庄工区の干拓と淡水化について, 伊達善夫, LAGUNA, 6, 189-203, 1999
 26. 衛星リモートセンシングによる中海・宍道湖の水質濃度マッピング(その 2)ー1998 年 3 月の調査ー, 作野裕司, 中山大介, 松永恒雄, 高安克己, 六川修一, 中村幹雄, 國井秀伸, LAGUNA, 6, 205-216, 1999
 27. 宍道湖・中海の鉛直クロロフィル a 濃度分布特性, 中山大介, 作野裕司, 松永恒雄, 高安克己, 國井秀伸, LAGUNA, 6, 217-222, 1999
 28. 中海における炭酸塩殻生物の潜在的分布能力, 瀬戸浩二, 山口啓子, 田中源吾, LAGUNA, 6, 247-260, 1999
 29. 中海におけるアカエイを用いたバイオテレメトリーの基礎実験, 徳岡隆夫, 西村清和, 村上英幸, LAGUNA, 6, 293-298, 1999
 30. 中海本庄工区の生物と自然, 國井秀伸(編著), たたら書房, 1999
 31. 中海・宍道湖の 100 年間の開発・利用及び環境変化ー20 世紀から 21 世紀へのメッセージー, シンポジウム講演資料集, pp 121, 1999
 32. 水産調査の結果について, 中国四国農政局, pp 128, 1999
 33. 水産利用の方向について, 中国四国農政局, pp 44, 1999